

総合医療情報システム 評価基準・配点一覧表

評価分類	評価資料	評価項目	評価のポイント（参考）	配点			
1. 価格評価	見積書 (導入金額+データ 出力金額)	評価点 = 配点(200点) - (見積価格 - 最低見積価格) / 1,000,000 (小数点第3位を四捨五入) ※100万円毎に1点減点とする。(減点は小数点第2位までとする。) ※導入金額、既存システムからのデータ出力金額、それぞれの上限金額を超える場合は失格とする。		300			
	見積書 (7年分保守金額)	評価点 = 配点(100点) - (見積価格 - 最低見積価格) / 1,000,000 (小数点第3位を四捨五入) ※100万円毎に1点減点とする。(減点は小数点第2位までとする。)					
2. 技術評価	要求仕様書	①. 調達基本要件	得点率を基に当院の採点基準に則り採点する。	400			
		②. ソフトウェア・ハードウェア基本要件					
		③. ネットワーク機器要件					
		④. 業務アプリケーション機能要件					
3. 提案評価	提案書 プレゼンテーション	①総合医療情報システムの特徴や将来性	電子カルテシステムの特徴及び導入実績	・医療情報システムとして、業務を考慮した機能実装が考えられているか。 ・医療施設の個別要件に柔軟に対応できるか。 ・医療の複雑化、高度化への対応が考えられているか。 ・215床以上の病院施設で十分な導入実績を有しているか。	300		
			電子カルテシステムの信頼性	・システムの信頼性（RASIS評価）への対応がなされているか。			
			電子カルテシステムの将来性	・医療情報システムの成長戦略は期待できる内容となっているか。 例) 医療情報システムに関する取り組みや将来構想等			
			総合医療情報システムとしての親和性	・標準マスタ、標準データ交換規約等を積極的採用しているか。 ・複数の部門システムとの親和性を確立するための工夫や技術的な仕組みはあるか。			
		②システムの導入効果	診療の質の向上	・具体的で実現性が高く、効果が期待できる内容か。 例) 診療情報の高度な二次利用、有用な機能提案等			
			医療安全対策	・具体的で実現性が高く、効果が期待できる内容か。 例) 患者情報（アレルギー情報、感染症情報、禁忌情報等）の見落とし防止、有効なチェックやアラート機能等			
			業務の効率化	・具体的で実現性が高く、効果が期待できる内容か。 例) 画面遷移の工夫や情報の集約、一括登録機能、各種セット化、承認処理の効率化等			
			患者サービスの向上	・具体的で実現性が高く、効果が期待できる内容か。 例) 待ち時間の短縮、患者の負担軽減に関する提案等			
			健全な経営基盤の確立	・具体的で実現性が高く、効果が期待できる内容か。 例) 情報の見える化、算定漏れ・入力漏れ対策等			
		③システム構築及び保守	システム構築計画	・当院とシステムベンダの役割分担が分かりやすく作成されているか。 ・プロジェクト全体を細かい作業に分割した工程表が示されているか。 ・提示されたスケジュール及び当院側の作業は、職員の負担軽減に配慮した具体的な提案になっているか。 ・現状の課題に対する解決及び運用提案における体制が示されているか。 ※「課題・要望一覧（構築時確認対象）」に対する各WGへの確認			
			プロジェクト体制、管理者及びリーダの業務実績、技術者の職務経歴	・提示されているプロジェクト体制は、本業務を遂行するのに必要な知識・経験・資格を有し、十分な人数で構成されているか。 ・部門システムベンダの管理体制が提案されているか。			
			システム保守体制	・稼働後のシステム保守体制は安心できる内容となっているか。 ・システム障害時の迅速な対応が可能な仕組みになっているか。 ・ランニングコスト抑制についての提案があるか。 ・診療報酬改定対応等、当院が要求する保守内容の提案があるか。 ・保守の範囲でバージョンアップが可能な提案であるか。 ・システム稼働後も柔軟にシステムの改善・機能強化が可能であるか。			
		④システム安定稼働、障害対策	稼働後の問合せや課題の管理	・稼働後の当院からの問い合わせに対する体制が示されているか。 ・稼働後の課題管理手法が示されているか。 ・標準機能で解決可能な問合せに対する周知方法が示されているか。			
			システム安定稼働の方策	・システム安定稼働の方策は、具体的かつ現実的な提案であるか。 例) 想定される障害パターンと防止策等 ・安定的なレスポンス確保のための方策は、現実的な提案であるか。			
		⑤職員の負担軽減	障害時の対応と復旧方法	・復旧時の対応は、具体的かつ現実的な提案であるか。 ・システム障害発生時に診療情報を参照するための機能及び運用は、具体的かつ現実的な提案であるか。			
			作業範囲	・当院職員との役割分担や作業範囲が明確に分かり易く示されているか。 ・当院職員の作業は、当院職員でなければならない範囲に限定されているか。			
			作業手法	・作業内容や依頼すべき作業事項が明確に分かり易く示されているか。 ・当院職員の日常業務への影響に配慮し、突発的な作業を避け、必要最小限に留める工夫がなされているか。 ・職員による手作業が不要である等、具体的かつ現実的な提案であるか。			
		⑥データ移行	作業支援	・技術面や運営面等、多面的に作業の簡素化や効率化を図る提案がなされているか。			
			移行範囲	・データ移行範囲（マスタ含む）は明確になっているか。 ・移行できないデータについて十分な対応が示されているか。 例) Doが可能なデータの範囲と制限事項等 ・システムが切り替わっても診療に影響がないように考慮されているか。			
			移行方法	・データ移行方法は明確になっているか。 ・職員の手作業によらず機械的な移行になっている等、具体的かつ現実的な提案であるか。 ・既存システムへの影響等を配慮した内容となっているか。			
			移行時のトラブルやミス防止手法	・データ移行時のトラブルやミスの防止について、具体的で実現性の高い内容となっているか。 ・当院職員の負担が少ない内容となっているか。			
		⑦その他	意欲/姿勢				
		総合評価点		総合評価点 = 1. 価格評価点 + 2. 技術評価点 + 3. 提案評価点			1000

※項目①～⑥は、提案書記載内容に対する評価項目です。

※項目⑦は、提案書外の評価項目です。

※評価のポイントは参考です。参考項目以外にも、当院にとって有用なものがあれば提案していただいで構いません。